

島根原子力発電所 2号炉 高経年化技術評価質問事項に対する回答一覧表

【熱時効】

通し 番号	事象	No	評価書分類	機種分類	機器分類	審査ガイド 項目	No	ページ	質問事項	回答内容	図書／ページ番号
1	2相ステンレス 鋼の熱時効	1	断続運転 別冊	熱時効	補足説明資料	3.(1)	⑫	別紙1	設定理由の根拠に用いられている NUREG/CR-4513 Revision 2, 2.2.2.2.2においてASTM A800/A800M法 はフェライト量が20%を超えるCASS材に対して は、過小評価される事が記載されている。代表 評価機器のフェライト量は20%を超えている が、ASTM A800/A800M法を用いることの 妥当性を説明すること。	ASTM A800/A800Mを用いることの妥当性 について整理した別紙8を追加した。	補足説明資料（2相 ステンレス鋼の熱時 効）別紙8
2	2相ステンレス 鋼の熱時効	2	断続運転 別冊	熱時効	補足説明資料	3.(1)	⑫	別紙1	NUREGではHullの式によるフェライト量の算出 方法も紹介されている。Hullの式を用いてフェ ライト量を算出し評価した場合と、 ASTMA800/A800Mによる評価とどちらが保 守的になるか確認している事をしめすこと。	ASTM A800/A800MとHull式を用いた評価 をそれぞれ行い、ASTM A800/A800Mを適 用する方が保守的であることを別紙8に追加し た。	補足説明資料（2相 ステンレス鋼の熱時 効）別紙8
3	2相ステンレス 鋼の熱時効	3	断続運転 別冊	熱時効	補足説明資料	3.(1)	⑫	別紙8	ANLモデルの式と係数を記載すること。	ANLモデルの式と係数を別紙8に追加した。	補足説明資料（2相 ステンレス鋼の熱時 効）p.別紙8-2～4